

UNIVERSITY CONSORTIUM TOCHIGI NEWS LETTER

 **大学コンソーシアムとちぎ**

発行 大学コンソーシアムとちぎ事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (宇都宮大学内)

TEL・FAX 028-649-5666

URL: <http://www.consortium-tochigi.jp/>

2012.3.1
Vol.7



コンソーシアムという試み

宇都宮文星短期大学 学長 上野孝子

栃木県は関東平野の一番奥まった所にあります。北には日光連山や、那須連山が屏風のように立ち上がり、昔から「災害が少なく住みやすい土地」と言われ続けてきました。ところが、こんなに豊かで素晴らしい土地であるにもかかわらず、高校を卒業すると首都圏の大学に進学したり、就職することで故郷を離れる学生が増えています。その数は進学する高校3年生全体の70%を超えています。私たちの大学コンソーシアムとちぎには19の高等教育機関が加盟しております。栃木県内でも工学、経済学、医学、芸術など幅広い教育を受けられることができます。加盟校はそれぞれに恵まれた環境を生かして、積極的に人材育成に取り組んでおり、教育内容は首都圏の教育機関に勝るとも劣らない、と自負しております。しかし、大変残念なことに高校生がなかなか足元を見てくれない、というのが現実です。「大学時代ぐらいは都会で生活をしたい」という高校生の気持ちは分からないわけではないのですが、郷土愛の欠如も大きな原因ではないか、と考えています。

私は広報事業委員長を仰せつかつて3年目になります。大学コンソーシアムとちぎを企業や行政との連携を深めるとともに、県内外の高校生に対して県内大学の魅力を発信するのが主な仕事です。毎年一般向け、高校生向けのパンフレットを作り、関係機関に配布するなど、PRに努めておりますが、大学コンソーシアムとちぎの知名度は決して高いとは言えません。産学公の連携、などを目的に各種講演会、講座などを実施していますが、やはり、成否のカギを握るのは知名度だと思っています。これからは内に閉じこもることなく、外部のイベントにも積極的に参加して、コンソーシアムとちぎの存在をアピールすべきだと考えます。

大学コンソーシアムとちぎ

平成22年度に採択された学生支援事業は以下の6事業でした。

学生活動支援事業

事業名 第6回 緑を育てるための学生交流会

機関 名 宇都宮大学
団体等名 NPOとちぎ生涯学習研究会
学生代表者 村上 滯生
宇都宮大学農学部

責任教職員 農業経済学科2年
藤井 佐知子
宇都宮大学教育学部

支援金額 100,000円
実施時期 平成22年12月11日(土)

実施場所 15時30分から19時
宇都宮大学 学生会館
多目的ホール及び学生食堂

事業の内容等
宇都宮大学にて、「第6回 緑を育てるための学生交流会」を上記の日程で開催いたしました。

第1部の「環境問題に関する講演会」では、宇都宮大学学長 進村武夫様をはじめ、栃木県議会議長 野田尚吾様、元衆議院議員 船田元様、宇都宮市環境対策課 柴田賢司様、栃木県造園建設業協会会長 高梨道太郎様、NPO法人足尾に緑を育てる会会長 神山英昭様の6名から、環境に関する講演、また、就職難といわれる現代に、学生時代をどう過ごすか、ということについても講演いただきました。

第2部の親睦会では、リンク栃木 BREX のチャリダーである BREX のメンバーとの環境問題を交えたトークショーなどで、大学の垣根を越えた交流をすることが出来ました。

活動実施状況の詳細は、NPOとちぎ生涯学習研究会の母体であります、

NPO法人とちぎ生涯学習研究会のHPに掲載しております。
http://www.geocities.jp/npo_1st/index.htm

事業名 宮チルキャンプ

機関 名 宇都宮大学 修学支援課
団体等名 宇都宮チルドレン
学生代表者 本間 真央
宇都宮大学教育学部

責任教職員 特別支援教育専攻3年
陣内 雄次
宇都宮大学教育学部

支援金額 81,890円
実施時期 平成22年7月17日(土)～18日(土)

実施場所 とちぎ海浜自然の家
事業の内容等

本事業である宮チルキャンプは、年に一度夏に行われています。今年のキャンプには、普段宮チルに來ている小学4年生から22歳までの障害児・者17人と、学生・OB・OGのボランティア24人の計41人が参加しました。今年も、1泊2日とちぎ海浜自然の家に行き、夏ならではの活動を行ってきました。

1日目の主な活動は、なぎさ活動、野外調理、キャンプファイヤーです。まず、なぎさ活動では、海の浅瀬で水遊びをしたり砂浜で自由に遊びました。

次に野外調理では、夕飯のカレー作りを行いました。火をおこす係、食材を切る係に分かれ、ボランティアの力を借りながら子どもたち自身でカレーを作りました。

夜はキャンプファイヤーを行い、日ごろなかなかできない暗くなってからの皆での活動にわくわくする子どもたちの様子が伝わってきました。

2日目の活動は、主にプール遊びです。プールは私たちの団体が貸切で使うことが出来ました。普段、民間のプール施設では他のお客さんもいるために活動が制限されてしまっていました。今回は大型のプール器具なども取り入れながら自由に遊ぶことができ、子どもたちはとても満足した様子でした。

事業名 ラインボールドゼミ ガイドブックチーム

機関 名 白鷗大学
団体等名 ラインボールドゼミ
学生代表者 伊東 実里
宇都宮大学教育学部

責任教職員 英語教育専攻3年
Lorraine Reinbold
支援金額 25,000円

実施時期 平成22年4月～8月末
実施場所 白鷗大学
事業の内容等

小山市に住む外国人(ポルトガル語使用者多数)、小山市に來た外国人、日本人に大学生のお勧めする飲食店や観光地を紹介し、小山市の活性化の二環として、小山市のガイドブックとホームページを作った。また、この活動を通して、身近な地域社会から自分たちができることを探し出し、人と地域を結ぶ中間集団として自分たちの英語能力を活かし、実際にボランティアの経営・重要性について学んだ。

大学コンソーシアムとちぎ

学生生活活動支援事業

事業名
ドキュメンタリー映画
「BASURA」上映会

機関 名 宇都宮大学
団体等名 「BASURA」上映実行委員会
学生代表者 高橋 里詠子
宇都宮大学 国際学部

責任教職員 阪本 公美子
宇都宮大学
国際文化学科4年

支援金額 100,000円

実施時期 平成22年1月23日(日)

実施場所 宇都宮大学 峰ヶ丘講堂

事業の内容等

フィリピンのごみ山（スモークマウンテン）で暮らす人々の支援を行っている四ノ宮浩監督のドキュメンタリーを上映。これは、換金できるごみを拾って生活する家族に20年以上密着した作品である。

同じアジアの中でも、いまだに死と隣り合わせで生活する人々や、彼らのために人生をかけて支援を続ける日本の監督の存在を通して、学生の今しかできないことをやる原動力に繋げる。

さらに、監督の講演を行い、映画での苦勞や裏話を聞くことができ、疑問点や問題点がある場合はその場で監督に質問をする。海外での支援活動やそれを行う映画監督を身近に感じることができる。

また、ワークショップを通して、何が問題なのか、何が必要なのか考えた上で自分でできることを模索する。他の学生など意見と意見を交わすことで、新しい発見や、自分与えたいものと相手が求めていることの違いや気づきを感じることができる。

事業名
防犯啓発活動・夜回り活動

機関 名 宇都宮大学
団体等名 栃木まもろーが
学生代表者 田中 和豊
宇都宮大学 農学部

責任教職員 森嶋 武美
宇都宮大学 学務部
学生支援課

支援金額 88,200円

実施時期 平成22年10月31日

実施場所 宇都宮市内

事業の内容等

県内1団体に認められる「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業実施団体」の防犯ボランティア団体として、若い世代の防犯活動への参加促進、宇都宮市内中心および、夜間の学内の防犯を高めるために、月に2回程度、毎回コースの違ったルートで防犯パトロールをした。また、栃木県警と連携し広報啓発活動を宇都宮大学内等で行った。

事業名
ソケリッサー in Utsunomiya
公演&講演

機関 名 宇都宮大学
団体等名 プロジェクト研究ソケリッサー班
学生代表者 森山 勇輝
宇都宮大学 教育学部

責任教職員 総合人間形成課程2年
長谷川万由美

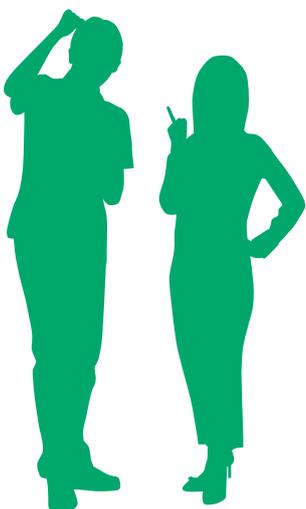
宇都宮大学 教育学部 教授

支援金額 100,000円
実施時期 平成21年2月13日
実施場所 宇都宮大学 峰ヶ丘講堂
事業の内容等

今回の事業「ソケリッサー in Utsunomiya 公演&講演」では、まず、第一部として、「ホームレスの人、ホームレス経験者の肉体表現ユニット「ソケリッサー」の公演を宇都宮大学 峰ヶ丘講堂で行いました。前日より、メンバーの方は前日より講堂にてスタッフとともにリハーサルを行いました。演目は2010年公演の『全知全能』を宇都宮大学に合わせてアレンジした特別ヴァージョンでした。また第二部として、学生二名が司会進行を担って、ソケリッサーのメンバーの踊りに対する思いや日ごろの生活の様子などをうかがいました。また会場の方々とメンバーやスタッフとの交流をはかりました。

この公演&講演は総合人間形成課程のプロジェクト研究の受講生を中心として学生主体で企画・準備・運営を行い、宣伝、パフレット作成、進行管理の三つのグループに分かれて仕事を分担しながら準備を進めました。

ソケリッサー!! HD (<http://sokerissanet/>)
右記のHPに次の公演予定や過去の公演が記載してあります。



栃木県の観光を考える シンポジウム 「観光業の再興とニューツーリズム」を開催。

がんばろう!!栃木 がんばろう!!東日本
栃木県の観光を考えるシンポジウム
観光業の再興とニューツーリズム
平成23年 11/5(土) 入場無料
13:00~16:00
場所 宇都宮大学峰ヶ丘講堂
宇都宮市駒形 350 宇都宮大学内

基調講演：観光庁観光地域振興部長 志村 格
パネリスト：志村 格（観光庁観光地域振興部長）
板橋 敏雄（栃木県経済同友会副代表幹事）
小針 務（栃木県産業労働観光部参事）
橋立 達夫（作新学院大学教授）
島田 恭子（陶芸作家）
コーディネーター：藤井 健（白鷺大学教授）
総合司会：渡辺 直樹（宇都宮大学理事）

お申し込み・お問い合わせ先
申込方法：事前に電話によりお申し込みください。定員は先着順となります。
申込先：〒350-8506 宇都宮市駒形350 宇都宮大学内
TEL.028-648-5666
申込期間：11月10日(金)まで

主催：大学コンソーシアムとちぎ

平成23年11月5日、宇都宮大学峰ヶ丘キャンパスで大学コンソーシアムとちぎ主催の『栃木県の観光を考えるシンポジウム 観光業の再興とニューツーリズム』が開催されました。

基調講演には観光庁観光地域振興部長の志村格氏をお迎えし、観光をとりまく環境と観光行政、観光を核とした地域振興、ニューツーリズム、東日本大震災への対応等について講演いただきました。

シンポジウムにはパネリストとして志村格氏、栃木県経済同友会筆頭幹事の板橋敏雄氏、栃木県産業労働観光部参事の小針務氏、作新学院大学教授の橋立達夫氏、陶芸作家の島田恭子氏、コーディネーターに白鷺大学教授の藤井健氏をお迎えし、それぞれの専門分野から栃木県の観光業の再興に向けてのご意見をお伺いすることができました。



大学コンソーシアムとちぎ理事長 進村 武男氏



観光庁観光地域振興部長 志村 格氏

会場からもさまざまな質問をいただき、活発な意見交換が行われました。

今回のシンポジウム開催が、今後の栃木県の観光振興・地域振興に貢献出来ればと思います。

パネリスト



観光庁観光地域振興部長
志村 格氏



栃木県経済同友会筆頭代表幹事
板橋 敏雄氏



栃木県産業労働観光部参事
小針 務氏



作新学院大学教授
橋立 達夫氏



陶芸作家
島田 恭子氏



白鷺大学教授
藤井 健氏
(コーディネーター)

平成23年度学長懇談会 および 栃木県知事との懇談会を開催。

平成23年11月18日チサンホテル宇都宮にて、学長懇談会および栃木県知事との懇談会が開催されました。懇談会では「栃木県」と「大学コンソーシアムとちぎ」の新たな連携、栃木県経済同友会とのボランティアプロフェッサーに関する協定等を協議題とし、実施に向けて、活発な意見交換が行われました。



チェック!

大学コンソーシアムとちぎの
ホームページが
リニューアルしました。

<http://www.consortium-tochigi.jp/>



大学コンソーシアムとちぎ役員 (平成23年4月1日現在)

理事長	進村 武男	宇都宮大学長
副理事長	牛山 泉	足利工業大学長
副理事長	北島 政樹	国際医療福祉大学長
副理事長	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	谷萩 昌道	足利短期大学長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	荻谷 勇雅	小山工業高等専門学校長
理事	太田 正廣	関東職業能力開発大学校長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	太田 周	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長
理事	輿水 優	佐野短期大学長
理事	高久 史鷹	自治医科大学長
理事	冲永 佳史	帝京大学長
理事	稲葉 憲之	獨協医科大学長
理事	森山 眞弓	白鷗大学長
理事	鯨井 佑士	放送大学栃木学習センター所長
理事	高橋 正英	栃木県総合政策部長
理事	板橋 敏雄	社団法人栃木県経済同友会筆頭代表幹事
理事(事務局長)	渡辺 直樹	宇都宮大学理事
監事	内野 直忠	学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事
産学官連携サテライト事業 委員会事業委員会委員長	石井 清	宇都宮大学地域共生研究開発センター長

編集後記

大学コンソーシアムとちぎは、平成17年4月に発足し、7年目を迎えようとしております。

本大学コンソーシアムとちぎは、県内の19の高等教育機関が共同して、相互の連携・交流を強化し、各大学等の教育・研究を充実・発展させると共に、広く地域社会や産業界の活性化に貢献し、魅力ある栃木県づくりを目指すことを目的としております。その目的を達成するためには、産学官連携を始め県民、市民と共生し地域力を掘り起こすシンクタンクの役割を担うことが必要であると思っています。とは言っても「大学コンソーシアムとちぎ」の知名度はまだ十分に認知されているとは思いませんし、序々にでも知名度をあげるために、前述の産学官連携による特色ある事業の展開や地域住民との交流の場の展開が必要であり実施していくことが重要と考えます。

本大学コンソーシアムとちぎ活動の一助となるよう事務局としてサポートしていきたいと思いますが、それには、構成機関の担当者を始め、構成員の皆様のご協力、ご鞭撻が必須であります。

本大学コンソーシアムとちぎが、皆様に知られ、親しまれ、活躍の場となるよう努力してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

事務局担当 原 正巳

大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足利工業大学 足利短期大学 宇都宮共和大学 宇都宮短期大学 宇都宮大学
 宇都宮文星短期大学 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 國學院大學栃木短期大学 国際医療福祉大学
 作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野短期大学 自治医科大学 帝京大学
 獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学 放送大学栃木学習センター